

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	百合が丘市民センター
開催日	9月28日（木）	開催時間	14：00～16：00 （2時間00分）
参加者数	約26名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【14：00】

2．あいさつ

・ 地区代表区長幹事

・ 市長【14：35～14：45】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【14：45～15：15】

・ 質疑【15：15～16：00】

Q（参加者）市職員に（基本構想）を推進する気持ちがあるのか？具体策があるのか？

何をいつまでにやるのか、はっきりさせる必要がある。

新聞には、津・四日市などの記事が載っているが、名張の記事はあまり見かけない。認知度についても、上野市の方がよく知られている。名張市はもっと注目されるようにならなければならない。名張市には、関西から移り住んだ人が多いので、高速道路を整備して、関西に引っ張ってもらわなければならない。

報酬を払わなければならない区長制度は、住宅地では不要である。

A（市長）具体的には、12月に基本計画を公表しますので、それでご意見をいただきたいと思います。

上野・津・四日市と比較すると、文化・観光の面で劣っていることは否めないと思いますが、能楽が世界無形遺産に登録されて、名張は観阿弥創座の地なので、大いに情報発信していきたいと考えています。

地域交付金をはじめとした名張市のまちづくりは、全国的にも注目されている。これを進めていくと、小さな地方政府が出来て、そのリーダーと市長が同格になります。桔梗が丘では議会も出来ていますが、あのようになるのではないかと考えています。

関西との交流ということで、道路整備の話がありましたが、錦生地区から小倉ICまで15分で到着できる道路について、地域の方々と詰めている段階です。それができたら、経済の活性化にも寄与できると思っています。建設省が進めている事業とも、

連携して、道路整備ができないか検討しているところです。

江戸川乱歩については、豊島区との文化交流を進めています。

区長制度については、市役所の窓口ということになりますが、地域において地域政府という新しい形もあると思われますので、見守っていきたいと思います。その上で判断したいと思います。

Q (参加者) 最近、駅前で食事や飲酒をしている子どもをよく見かけるようになった。子どものしつけは、学校の責任ではなく、親の問題だと思うが市長の考えは？

A (市長) 高度経済成長によって、分業が進み、共働きのなかで、教育は学校が行うものという意識が蔓延し、学校もその役目を受けざるをえなくなりました。臨時教育審議会において、その見直しが始まって、生涯学習ということが言われてきました。

低学年の授業は厳しいものがあり、家庭・地域・学校の三位一体の改革が必要と思われます。大きな課題だと思っています。

Q (参加者) 人口も税収も、平成 12 年度がピークということで、計画の見直しを行うということだが、障壁があるから方向転換をするのか、それとも障壁を除去するための努力をしたのか、亀井市長の就任前からいた 4 人の方々、前市長のときはそのまま行こうと思われたのですか？

概要版の 3 頁に書かれていることですが、名張市の職員の方でも本当に判っている方はいるのでしょうか、という気がします。百合が丘でも、名張市でもそうですが、何でもかんでも「尊重」というのでは、すべてが上手くいかない。人口の流出を止める努力はしたのか、どうして人口の流入が減ったのか分析はしているのか、何もしないのでは、あきらめの施策で醜いやり方である。障壁を除去するための努力はしたのか？どうして、人口が減ったのか？今回の資料にはありませんが、それらを含めた資料を我々に示していただいたらどうですか？

A (市長) バリアがあるから避けるという訳ではない。人口を伸ばす計画は当然ながらしています。何でもかんでも「尊重」という訳にはいかなくなるので、あれかこれかの選択ということになります。名張市は暮らしやすさを強調していく必要があると思います。雇用についても、名張市は名阪国道沿いの土地よりも値段が高いので、生産工場を誘致するのは難しいと思われます。名張市は暮らしやすい。名張市に暮らしたつづきたいという方が 80%お見えになるので、そういった方の想いを政策に反映していかなければならないと思います。そういう意味では、名張は保健・医療・福祉・教育という分野を強調していかなければならないと思っています。そして、保健・医療・福祉・教育・情報通信による雇用が拡大しています。

税収が昨年 99 億円から今年 93 億円になっています。名張市は土地付の家をお持ちになっている方が多いので、大阪の千里ほどではありませんが、厳しい財政状況です。

財政計画については、中期までは総合計画に入れてお示しをするようにします。

Q (参加者) 私は大阪の企業人ですが 12 年間の計画では先が読めない、企業では 5 年間で計画を策定しているが、それでも難しい。市民の側に立って策定すること。どこが変

わったのか見えないので、変更点を明確にすること。

A (市長) 市政一新プログラムについては、2年間となっています。経営理念については、私どもも同じようなやり方ではやっていけないと思っておりますので、企業のやり方を取り入れて、行政運営で費用対効果を考えてやっていきます。

年次計画を3年とし、実施計画には数値目標を入れて、市民の皆様にも評価してもらいやすいようにします。基本計画は10月・実施計画は年明けぐらいになります。

Q (参加者) 市職員の給与は、民間企業と比較して年間100万円位多い。

A (市長) 地方公務員法もあり、様々な束縛があります。国は改正を検討しているようですが、成果主義ということも言われています。

Q (参加者) 市長の方針を窓口の職員までが理解していないようで、理解していないことを恥ずかしいと思っていないようである。市長が何を指して、議会で何を指しているのか、意識の統一をするべきである。

A (市長) 長い間、慣例のなかで仕事をしてきましたが、今一生懸命に改革をしているところで、これからは職員研修を通して、意識改革に努めていきたいと思えます。

Q (参加者) 民生児童委員について、自治区に1名の民生児童委員の導入をお願いしたい。高齢化社会を迎えるなかでも必要なことである。

A (市長) 民生児童委員については、国の制度で5年に1回、人口比を考慮して、見直しを実施されます。名張市では、前回、特別に数を増やしてもらっていますが、その努力は継続していきます。

Q (参加者) 基本構想は抽象的である。全国には、有名なモデルとなるような地区があるが、それらの事例を学んだのか？

海外では、旧市街と新市街に分かれていて、旧市街には史跡・新市街には商業ゾーンが配置されている。商業ゾーンは1箇所に集められている。あるいは、住宅地・農地が区分されている。青蓮寺では松枯れで、松茸の収穫が出来ない。県に問い合わせると、消毒に400万円かかると言われた。

A (市長) 12月には具体的な基本計画を公表します。

名張まちづくりは、凸凹はありますが、これが上手く機能してくれば、コミュニティの熟度が増して、住民自治が行われると思っております。英国のパリッシュが目標とするところです。地域づくり委員会というプラットフォームができましたので、注目されています。地域福祉計画の策定についても、全国で15箇所選ばれた地域のひとつに選定されました。また、今度は、全国で50箇所新世代育成事業のモデル地区に名張市が選ばれました。

松の空中散布については、近隣からの苦情によって実施していません。地域の理解

が必要です。

A (総合企画室長) 土地利用マスタープランについて、中心市街地の整備で重点的に行わなければならないのは、一定の商業・業務機能は必要ですが、歴史・文化を活かした整備が必要だと考えています。鴻之台・中央西においては、商業・業務機能の誘導と第3次産業の受け皿と考えています。量的なものから質的なものへ、美しさ、快適さへと変化しています。

名張市の発展のモデルは、外に求めるのではなく、名張の中にあると考えています。名張は人材では恵まれているので、生活都市としての質を求めるべきと考えています。

12年というスパンでは、具体的なことは、なかなか難しいと思われます。基本構想では大きな方向を、具体的なことは基本計画でとそれぞれに役割があります。

A (部長) 職員に対して、色々なご意見をいただきましたが、肝に命じて、職員が一丸となって、努力し、勉強し、改革しますので、ご指導いただきますようによろしくお願ひします。ただ、ご理解いただきたいのは、給料削減や人事院勧告のマイナスといった厳しい時代が来て、これまでの公務員の発想では乗り切れないと思います。民間の発想で、民間の真似をし、民間でできることは民間にお願いするという小さな市役所を目指して、職員が一丸となって市政一新プログラムを策定して、プロジェクトチームを結成し、行財政改革を実施しようと頑張っています。名張市は13市のなかでも、行政改革に最も力を入れているので、いましばらく見守って欲しいと思います。

市町村競争が始まった。交付税が無くなり、知恵を出した市町村とそうでない市町村に差が出ますので、民間手法を勉強しているところです。本日はありがとうございました。

5. 閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきまようによろしくお願ひします。(司会)